

番 号	30請願第1号 (厚生委員会付託)
受理年月日	平成30年2月19日
件 名	三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山の閉鎖にかかわる手続を凍結し、再検討することを求める請願について
提 出 者	三鷹市所在 三鷹市の特別養護老人ホームを考える会 代表 成清 一夫 三鷹市所在 新日本婦人の会三鷹支部 支部長 高橋 友子 三鷹市所在 北多摩中央医療生活協同組合 三鷹ブロック長 柳沢 浩二 ほか 2,475人
紹介議員	増田 仁
要 旨	
<p>〔趣旨〕</p> <p>私たちは、三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山の閉鎖にかかわる手続について、一旦凍結し、再検討することを、市に求めるよう請願する。</p> <p>三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山閉鎖についての事案に関する市の説明は、いずれも市民を納得させるものではない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設の老朽化について、市は躯体には問題はなく、閉鎖後は新しい形で利用したいとし、老朽化を閉鎖事由とする認識に反する説明をしている。 2 財政の健全化について、どんぐり山については赤字を閉鎖理由とし、介護保険内の運営を求めながら、近隣市立の連携関連施設に対しては多額の負担金を支出し、介護保険外の支出をするというダブルスタンダードである。 3 予定される新施設の建設は、利用者の高負担を要するユニット型で、多床室少負担のどんぐり山の代替となるものではない。 4 老人福祉法その他で制定された特別養護老人ホームの役割は、公設の施設だからこそ、果たせるものである。 5 地域包括支援センターの扱いについて、予定新法人に委託する、他方では楽山会に残すとする方針であるなど説明に一貫性がなく極めて曖昧である。 <p>なお、本件については、三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山の存続を求める署</p>	

名1,145筆を、清原市長に提出済みである。